

授業科目 体育原理・スポーツ哲学

【担当教員名】 宮尾 正彦	対象学年	1	対象学科	スポ
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	○	
【概要・一般目標：GI0】 特に現代スポーツが抱える様々な問題や、実際のスポーツ指導現場において想定される諸問題を取りあげ、それらに対してどのように対処するかを考えることによって、自分自身のスポーツに対する取り組み方や考え方を考察する態度を育てる。 上記を通じて体育とスポーツの概念について考える。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 体罰とスポーツ指導 2. フェアプレー 3. ドーピング問題 4. スポーツ試合における誤審 5. スポーツと八百長 6. スポーツ現場における暴力 7. スポーツと様々な差別 8. 体育・スポーツの概念 				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	体罰とスポーツ指導（1）		1	
	体罰とスポーツ指導（2）		1	
	フェアプレー（1）		2	
	フェアプレー（2）		2	
	ドーピング（1）		3	
	ドーピング（2）		3	
	誤審問題（1）		4	
	誤審問題（2）		4	
	八百長問題（1）		5	
	八百長問題（2）		5	
	スポーツにおける暴力（1）		6	
	スポーツにおける暴力（2）		6	
	スポーツにおける差別（1）		7	
	スポーツにおける差別（2）		7	
	体育・スポーツの概念		8	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書		スポーツ哲学の入門—スポーツの本質と倫理的諸問題	シェリル・ベルクマン・ドゥルー、川谷茂樹(訳)	ナカナシヤ出版 2012・2,600円+税
		なぜ、スポーツ選手は不正に手を染めるのか～アスリート不正列伝	マイク・ローボトム (株) エクスナレッジ	2014・1,800円+税
その他の資料				
【評価方法】 出席数、授業時間内のミニテストの総合によって評価する		【履修上の留意点】		